中央公民館講座

芦屋鋳物師の末裔
博多鋳物師「山鹿家」の軌跡

江戸時代初期、芦屋鋳物師の一派は博多に移り住みます。彼らは故地にちなんで「山鹿」を名乗ります。優れた作品を遺した博多鋳物師「山鹿家」の軌跡をたどります。

芦屋釜の里・大茶室



博多鋳物師「山鹿家」が描いた釜の下絵

日　時　　令和8年12月19日(土) 午前9時～11時
場　所　　芦屋釜の里（芦屋町大字山鹿 1558-3）
講　師　　芦屋釜の里館長(学芸員)　新郷英弘　さん
定　員　　30人(事前申し込み先着順)　※当日受付はいたしません。
申し込み　　11月26日(木)から・午前9時～午後5時までに電話(☎093-222-1681)または中央公民館窓口へ(月曜休館)
参加費　　呈茶代600円(高校生以下は400円)が必要です。

